

発行所  
 石川県保険医協会  
 金沢市尾張町1丁目9番11号  
 〒920 尾張町レジデンス2F  
 電話 (0762) 22-5373番  
 発行人 平松昌司  
 印刷所 ユーアイ印刷

# 石川保険医新聞

## 迎春

役員・事務局員一同



もちついて いじめなき世ぞめでたかる

としお

### 1995年



《俳句》栗野利雄 (金沢市・内科)  
 《写真》杉野洋一郎 (保険医協会事務局)  
 《撮影協力》津幡町中条南保育園

### 医心凡語

去年を振り返ってみると、何とんでも一番の快挙は大江健三郎氏のノーベル文学賞受賞だろう。同じ日本人として、まことにめでたい慶事であった。

受賞が決まると、講演依頼が殺到したという。運のいいことに、受賞直後の彼の話を聞くことができた。

彼の話の中に、特に強い印象を受けた言葉がある。

それは「病気から回復するということは、人間に強さ、優しさを与える」という一言である。彼は彼自身や井上靖の体験、また、文学作品中の主人公の行動を通じて、このことを語っていた。

病いが癒えるころというのは、その人にとって、最も自然治癒力の高まった時である。自然治癒力を活力、ホメオスタシス、免疫力の総合されたものとみると納得がいく。自然治癒力の高まりを、脳内にβエンドルフィンが多量に分泌された状態とみている人もいる。瞑想や座禅の最中に、脳内にβエンドルフィンが増えているというし、また癌をやっつけるNK細胞の活性をそれが高めるとも聞く。

ヒポクラテスの言葉に「病いは自然治癒力が治し、医師はそれを助ける」という名言がある。医者は病人を自分が治してやったのだとつい、錯覚しがちである。今年一年、この名言を座右に診療に励みたいものである。



# 年頭所感



石川県保険医協会会長 平松昌司

新年、明けましておめでとうございます。

協会にとりまして今年には20周年日に当たるので年史を編集しており、保険医の権利擁護と医療の改善、生命を尊重する平和運動などの協会活動の歴史が明らかにされますが、よくここまでがんばってきたと思います。ひたむきだった昔のこととともに、初心を忘れないようにしなければならないことと痛感いたします。

今後とも、役員、事務局員全員が心を一にして協会のために努力しなければならないと感じます。新年に際しまして、会員の方々の協会活動に対するなお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

## 〈第15回〉 理事会点描

# 障害者問題を 本格的に

(12月6日、11人出席)

今年最終の理事会、寒空と交通事情で開始が少々遅れたが、報告事項が担々と進む中で、黄色いハガキ事例で内視鏡検査時のリスク測定の頻度について大いに討論となった。学術問題に関して議論白熱するのは気分が良い。医療福祉部や機関紙部が来年から本格的に取り組み障害者問題について、施設職員との懇談会報告や「持論」の検討があり、理事者自身の意識が高まりつつあって心強い。障害者が「普通の市民」であるのは考えてみれば当たり前のことなのに、医療関係者を含めて従来の対応に反省すべき点が多々あったのではなからうか。

十月の健保法改定で全国的に大問題となった入院給食費負担と付添看護廃止計画では、わが協会の「119番」開設に次ぐ県への陳情行動といういち早い対応が、マスコミでも大きく報道され今年の対外活動の目玉となつたと評価した。十二月の保団連幹事会で高松副会長が報告し全国の協会に同様な活動を呼びかけることにしている。看護婦・家政婦紹介所との懇談会の計画も了承された。県への陳情で同時に要請し

た乳幼児医療費助成制度も、当県は全国レベルに比して決して満足できるランクにないので、来年も改善運動を続けることも確認した。

泉原爆被災者友の会の企画による戦後五十年・被爆五十周年記念行事に、発起人の一人として平松会長が名を連ねる件に関しては、その趣意書に異存はなく了承された。平和憲法の護持、非核の願いはイデオロギーを超えた国民の正義であることに間違いはないと信じている。

そのほか、提出資料では行政手続法講演内容、障害者の人権を考える講演会案内、歯科個別指導のためのチェックポイント、歯科医師連盟の見解、保険医年金制度の変更事項、生と死を考える登谷協会顧問の新聞記事などなど、注目すべき資料が盛りだくさんで、理事会が終わったのは午後十時を回っていたが、すぐに帰る理事が誰もいない。今日の会議の内容があまりにも豊かだったためか？全員が余韻を楽しんでいる風で、議長としてはホッとした気分であった。

(安藤 記)

## ヨコのカギ

- ①—の上にも3年
- ④地味でない、はなやかな服
- ⑥万年も生きるという動物
- ⑧ノーベル文学賞、日本人として2人目の—氏
- ⑪首が長〜いアフリカの動物
- ⑫休息、—のひとつき
- ⑬3人寄ればもんじゅの—
- ⑭ぬき足さし足—足
- ⑯九つ、野球の9人の正選手
- ⑰道路や電話が初めて通じる
- ⑲話す、毎月19日は—の日
- ⑳—も八丁、手も八丁
- ㉑首相、内閣—大臣
- ㉒グラグラ、まず火を消そう
- ㉓長編小説、物語、仏語では
- ㉔背骨の下の部分、—ぬけ
- ㉕トランプやかるたなどの札
- ㉖助手、手助けをする人
- ㉗あからさま、—な表現
- ㉘恋愛、—わずらい
- ㉙ふな・鮎など淡水にすむ魚
- ㉚アルミ—の窓わく

【パズルの解き方】タテ・ヨコのカギをヒントにマス目をうめてください。次に二重マスに入れた文字をABC...の順にHまで並べてください。それが答えです。

1	イ	2	G	3		4		5		6		7	
		8		9		10							F
11			H	12						13			
			14	15	/			16	17				
18	19					20	D				21		
			A		23				24	25			
	26	27			28	29	シ			E			
30					31				32			33	
			34	35				36					
37							B		38		C		シ

猪突.....ではない  
答え A B C D ... E F G H

# '95 亥年 クロスワードパズル

出題 ●モロズミ勝

- ## タテのカギ
- ②読みかけの本にはさみませ
  - ③ステッキ、転ばぬ先の—
  - ④はん、印鑑、印判
  - ⑤凶案、形などを考え出す人
  - ⑥ニンジンなどに含まれている色素、ベーター—
  - ⑦目下の反対、上の人は？
  - ⑧植物を保温して育てる部屋
  - ⑨変事にそなえて警戒・防備
  - ⑩金箔をはった京都の—寺
  - ⑪農家が集まっている村
  - ⑫幼い子どもを育てること
  - ⑬プロ野球、振り子打法で有名なオリックスの選手
  - ⑭よけいな心配、—苦勞
  - ⑮—は人の上に人を造らず
  - ⑯指先の内側にある線の模様
  - ⑰水夫、船乗りの—パイプ
  - ⑱サンフランシスコ、略して
  - ⑳正月の礼遊び、いろは：—
  - ㉑夏はウス着、冬は—
  - ㉒10対1の—をつけて勝つ
  - ㉓はものをとぐ石
  - ㉔ことわざ、まな板の—

## お年玉 プレゼント

正解者の中から抽選で10の方に図書券(2,000円分)をプレゼント  
—どなたでも応募できます—  
(お一人様、一通に限らせていただきます)

官製ハガキにクイズの答え、住所、氏名、職業および本紙を読まれた感想を記入の上、協会までお送り下さい。  
当選発表は次号(2月15日号)保険医新聞に掲載します。  
(送り先)〒920 金沢市尾張町1-9-11 石川県保険医協会  
(締切)1995年1月31日(当日消印有効)





開業を決めたのは、いい意味での開き直りだったんですと千田先生(中央)

# おねおねおしませす

## 千田恭恵先生の巻

千田歯科クリニック  
金沢市白菊町2-7

68

新春の「お訪ねします」は、美しさと優しさを兼ね備えた女医さんを……ということ、白菊町で開業されている歯科医の千田恭恵先生のお宅にお邪魔しました。久しぶりに胸をときめかせながらインタビューに出かけました。

### 女医の江守先生に影響されて

「このあたりは街の中の割に、随分静かですね。そうですね。お昼の方がかえって静かなんですよ。夜は片町が近くて、酔っぱらいなどでうるさいんです。(なるほどと、一人でうなずく……)」

「先生はこちらのお生まれとお聞きしましたが……父がこちらで開業してい

たこともあり、一九八五年に大阪歯科大学を卒業後、五年間ほど開業医の先生のところで勉強し、一九九〇年春に父の跡を継ぐ形で開業しました。

「開業を決心する直接のきっかけのようなのはあったのでしょうか。開業する前に最後に勉強させて頂いたのが同じ女性の江守先生のところでした。先生の仕事振りを見て、女でもここまでやれるんだという思いを持ち、自分もやってみる気になりました。」

「先生の旦那様は医療関係のお仕事ではないとのことですが、それで良かったのでしょうか。開業して一番大変だったことは借金のこととスタッフのことでした。特にスタッフは昨年一年間、安定しな

くって、随分苦労しました。一番うれしかったことは、結局、開業して自分でやるしかない、いい意味で開き直り、その中で自分自身が変わってきたということでしょうか。

「開業して一番大変だったことは借金のこととスタッフのことでした。特にスタッフは昨年一年間、安定しな

くって、随分苦労しました。一番うれしかったことは、結局、開業して自分でやるしかない、いい意味で開き直り、その中で自分自身が変わってきたということでしょうか。

### 患者さんの立場で説明を十分に

「患者さんの診療に当たって、特に心がけておられることなどありますか。」

「最近、私自身が患者として医療機関を訪れる機会が増えたんですが、聞きたいことを聞く雰囲気でない、説明が得られなかったとい

うことが何度ありました。自分がたまに患者さんの立場になるということはすぐく考えさせられることが多いですね。以後、私は患者さんにできるだけ、まず説明を十分するよう心がけています……(笑い)。

「開き直り、その中で自分自身が変わってきたということでしょうか。」

「開き直り、その中で自分自身が変わってきたということでしょうか。」

「開き直り、その中で自分自身が変わってきたということでしょうか。」

### 95雑談

「猪の手に負えない」が代表的。猪を攻撃すると毛をたてて怒ることから、危険であることを表しています。

「片皮破りの猪武者(いのししむしゃ)」は、状況を考えず、がむしゃらに突進する様子から、向こう見ずの表現に。「後先見ずの猪武者」も同じ意味です。

「猪も七代目には家(いのこ)になる」。猪は豚の古語で、豚を意味します。猪は豚の先祖です。猪が時間をかけて豚に変わっていったように、

「山より大きな猪(しし・いのしし)は出ぬ」は、入れ物より大きな中

### 猪にまつことわざ

「猪にまつことわざ」は、入れ物より大きな中

「猪にまつことわざ」は、入れ物より大きな中

「猪にまつことわざ」は、入れ物より大きな中

「猪にまつことわざ」は、入れ物より大きな中

「猪にまつことわざ」は、入れ物より大きな中

### ちっぽち聞いて (その9)

### 巧人体 誤飲

田丸忠良 (金沢市・小児科)

日常診療におけるあんなこと・こんなこと  
このコーナーの原稿を募集しています



# 特別講演

## だれもが安心して暮らせるまちづくりを

(下)

### 高齢者保健福祉計画策定動向を中心に

東洋大学社会学部教授 大友 信勝

〇〇〇〇〇〇〇〇 本稿は十二月号の続きです 〇〇〇〇〇〇〇〇

## 日本の福祉は 窓口で決まる

さて、日本の福祉サービスの在り方を考えたときに、さらにどんなことが大切かといえますと、「福祉サービス」と言われております。七尾市の方は、七尾市以外で手続きができません、隣の町が親切だといっても、はできません。そういう意味で、住民は行政機関を選ぶことができません。ホームヘルプサービスは頑張っても週に二、三回、デイサービスでも頑張っても二、三回だとすれば、それらのサービスを使って、七尾市なら七尾市に暮らしたい場合には、ウィークリープランで、いくつかのサービスを組み合わせさせてやっていくことが不可欠です。そうするとコーディネーターというのは専門家でなければなりません。そういう点からして、マンパワーの量も大事だけれども、マンパワーの人材の質が、これからの七尾市

## 住民の利用意識を どう高めるか

今一番必要なことは、住民の保健・医療・福祉サービスの利用意識をいかに高めることができるか、ここにかかっています。人々はまだ、福祉サービスを利用することは恥ずかしいことだという文化すら持っています。ここをどのように変えていけるか。全国の実態調査も随分見ました。一回以上、保健・医療・福祉サービスを具体的に利用した方々は、もう一度、別のサービスを求めて利用しようという回答をしています。一度も利用したことがない人は、依然としてそれらのサービスの利用を敬遠します。いづれにしても、高齢者サービス、障害者サービス

## 先進国の進んだ福祉 その導入の仕方が問題

今、税制改革の問題があって、時代は音を立てて動いております。消費税をどうするかという議論もありまして、国、都道府県の仕事を市町村に下ろしているわけですから、地方消費税としてやれという意見もあります。今のお話は消費税を最低五％―これは五％以上ということでしょうけれども、その一％を都道府県税として(市町村税としてとは言っておりません)ということも含めて、今の税制改革論議というのは、一番重要なところで、一番必要なのところに手の届かない、また低所得や高齢者の方々は負担が多くなるという議論になっているのではないかと、このことを心配しております。また一方で、厚生省は社会保障審議会を通して公的



大友信勝先生

## 必読の一冊です

高齢者保健福祉計画を考える上での必読書

検証

## 高齢者保健福祉計画

住民参加型へのアプローチ

〇大友信勝編・著

〇KTC中央出版発行

〇一九九四年十月一日発行

〇A五判、二六三頁

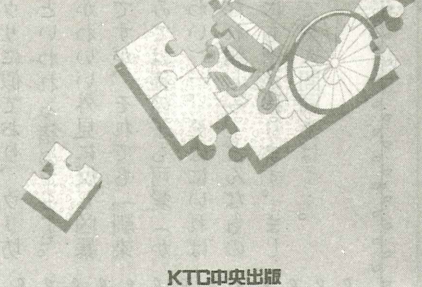
〇一冊一八〇〇円(千別)

お求めは 近くの書店で

## 検証 高齢者保健福祉計画

住民参加型へのアプローチ

編・著 東洋大学社会学部教授 大友信勝



KTC中央出版

さ、日本の福祉サービスの在り方を考えたときに、さらにどんなことが大切かといえますと、「福祉サービス」と言われております。七尾市の方は、七尾市以外で手続きができません、隣の町が親切だといっても、はできません。そういう意味で、住民は行政機関を選ぶことができません。ホームヘルプサービスは頑張っても週に二、三回、デイサービスでも頑張っても二、三回だとすれば、それらのサービスを使って、七尾市なら七尾市に暮らしたい場合には、ウィークリープランで、いくつかのサービスを組み合わせさせてやっていくことが不可欠です。そうするとコーディネーターというのは専門家でなければなりません。そういう点からして、マンパワーの量も大事だけれども、マンパワーの人材の質が、これからの七尾市

今一番必要なことは、住民の保健・医療・福祉サービスの利用意識をいかに高めることができるか、ここにかかっています。人々はまだ、福祉サービスを利用することは恥ずかしいことだという文化すら持っています。ここをどのように変えていけるか。全国の実態調査も随分見ました。一回以上、保健・医療・福祉サービスを具体的に利用した方々は、もう一度、別のサービスを求めて利用しようという回答をしています。一度も利用したことがない人は、依然としてそれらのサービスの利用を敬遠します。いづれにしても、高齢者サービス、障害者サービス

今、税制改革の問題があって、時代は音を立てて動いております。消費税をどうするかという議論もありまして、国、都道府県の仕事を市町村に下ろしているわけですから、地方消費税としてやれという意見もあります。今のお話は消費税を最低五％―これは五％以上ということでしょうけれども、その一％を都道府県税として(市町村税としてとは言っておりません)ということも含めて、今の税制改革論議というのは、一番重要なところで、一番必要なのところに手の届かない、また低所得や高齢者の方々は負担が多くなるという議論になっているのではないかと、このことを心配しております。また一方で、厚生省は社会保障審議会を通して公的

ロッパ大陸モデルというのは、多くの国で七〇％が事業主負担、三〇％が労働者負担ですが、日本は五対五です。そういうことを含めて、先進国のこの制度が導入されれば、前提条件を改善したり整備しなければ、最も負担が多いのは日本だと思っ



# シンポジウムのまとめから

岩手県の遠野市では、福祉サービスを利用することが恥だという文化をどう変えていったか。市の当局が発想の転換をしないと過疎化が一層進行し、住民の方々がこの地域で暮らし続けることが難しいのではないかと、市幹部あるいは市の職員のレベルで最初はいろんな議論が進行しました。

最終的には、あることを契機に大きく流れが変わりました。福祉サービスを利活用してみようという方向に変わったんです。その流れというのは、市の助役さんが、自分のお母さんのためにホームヘルプサービスや



約300人の市民、保健・医療・福祉関係者が七尾に集って開かれた第12回老後問題を考える石川のつどい  
(10月30日、七尾サンライフプラザ)

が、自らもそこを利用するところだ、自らも利用するサービスだというふうな、本音で自分のことだと思っているかどうかが、これがかなり大きいなと思っておられます。

七尾市の資料を拝見しますと、七尾市のアンケート調査では、ホームヘルプサービスなどを利用したいと思っている方は三〇%台の前半の数字が出ていますね。この必要度というのは、三〇%という数字は、ホームヘルプサービスなどを利用してみたいという全国平均に照らしてみると、七尾市は大体、平均的なところになります。

ホームヘルプサービスを利用してみたいという全国平均的な水準は、今回のこのアンケート調査で三〇%台のところが多くなっています。四〇%台、五〇%台という市町村の場合は、例えば特別養護老人ホームが非常に便利なおところにあ

て、日常的にいくつものホームヘルプサービスや各種の高齢者サービスなどを住民の方々がよく見ている、比較的その地域の生活文化になじみ始めてきているところ、利用してみたいという希望率が非常に高い。そうでないところは大体三〇%ぐらいのレベルで、今までの行政の福祉サービスの努力水準が、大体三〇%止まりぐらいの掘り起こしはかしていなかったと言えるのではないのでしょうか。

そういう意味で、私は全国平均が三〇%台の前半から後半の数字というのが一般的な数字ですから、七尾市は平均的なところか、平均よりちょっと低いところくらい、と見ています。改めて住民のサービス利用をどう掘り起こしていくか、育てあげていくかということが、今後、大変大事なテーマになっていくのではないのでしょうか。

## 障害者にやさしい町づくりを

と先進地を―――北欧に行かなくても、日本でいろんなところでやっていますから、そんなところを見学されて学習されたら、その気になれば早く導入できるもの一つで、恐らくこれがやったら七尾市長さんは次も再選間違いなし(笑)。

毎日、市が何らかの形で、サービスで住民にかかわるんです。これはぜひ前向きにご検討いただきたいもの一つだと思っております。

障害者も高齢者も一緒にできるサービスの生活支援法とか社会サービス法という法律ですけれども、寝たきり老人などが少ない国に老人福祉法はないのです。いかに日本が縦割りをやっているか、この辺の問題を私どもが見直しをしていく必要があるんだと思っております。

それから「ゴールドプラン」といわれる高齢者保健福祉推進十カ年戦略で、そこまで踏み込んでいないものが一つあるんです。何かというと、痴呆症への対応がこの「ゴールドプラン」で触れられていないんです。ようやく厚生省が、今年八月に「新ゴールドプラン」を発表いたしました。そこで初めて痴呆症への対応を厚生省として考えていくことを公式に打ち出したと言っていると思えます。

## 補助制度の活用で一日三食のサービスを

それから食事サービスはボランティアを活用している限りは、どんなに頑張っても週二回が限度です。これをやるためには、特別養護老人ホームか老人保健施設か病院か学校給食をやっているところか、既存のそういうものを活用して、専任の方を雇いあげてトレーニングをしていくと、こういうふうになります。日本で三百六十五日、一

日二食以上やっているのは鹿児島県に相当あります。福岡にも北海道にもあります。そういうところを見ますと、設備なんかでもお金はそんなに掛かっておりません。食事サービスというのは一定の利用料を、当然利用している方々からいただくわけですし、国が六百五十円を上限に半分出しますし、都道府県が四分の一出します。そういう補助

## 特養のある町は子供がやさしい

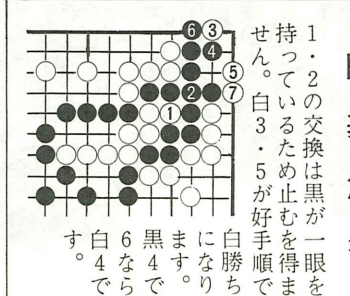
痴呆症の問題が、高齢者問題、介護問題を考えると一番大変な問題です。日本では重い方々ほど、痴呆症などが合併している方々ほどたらい回しされているという現実があるわけですから、ここをどうするか、これが大変大事なテーマだと思っております。特に後期高齢者といえますか、はっきりしているのは自然年齢

と先進地を―――北欧に行かなくても、日本でいろんなところでやっていますから、そんなところを見学されて学習されたら、その気になれば早く導入できるもの一つで、恐らくこれがやったら七尾市長さんは次も再選間違いなし(笑)。

毎日、市が何らかの形で、サービスで住民にかかわるんです。これはぜひ前向きにご検討いただきたいもの一つだと思っております。

障害者も高齢者も一緒にできるサービスの生活支援法とか社会サービス法という法律ですけれども、寝たきり老人などが少ない国に老人福祉法はないのです。いかに日本が縦割りをやっているか、この辺の問題を私どもが見直しをしていく必要があるんだと思っております。

## 囲碁解答



見せることが最大の福祉教育です。生活の中に福祉の課題がいっぱいあるということが私は大事なことだ、そういう地域は子どもさんたちがやさしいのです。岐阜県の池田町は安心して老いるための舞台ですけれども、町のと真ん中、一番便利なところに特別養護老人ホームがあります。この子どもさんたちは明るい、やさしいです。痴呆症の方々が徘徊しているのを毎日見ている。そういう人たちが町の中にいるというのは当たり前のことだと思っております。そういう方々を見ながら子どもさんたちが育っていく、こういう環境をどうつくっていくかというところにこそ、これからの限られた財源を振り向けるべきだと思っているわけです。世界の流れは、家族介護から社会サービスの方向へ明らかになってきています。あと、国の姿勢については、厚生省としては次第にやる気を出してきておりますが、大蔵省や自治省の了承を取り付けておりません。財源の問題は残念ながら、全体として厳しい状況にありますし、しかもやるのは市町村ですけれども市町村に税財源を移してあげません。ここしばらくそういう厳しい状態が続くと思えますが、私は北欧モデルやイギリス型モデルがなぜ可能になっているかというところ、市町村に税財源を移しているからこそ可能になっているというところを考えると、市町村に税財源を、と追求することが、またもう一つ大事なテーマになっていくのではないかと思います。

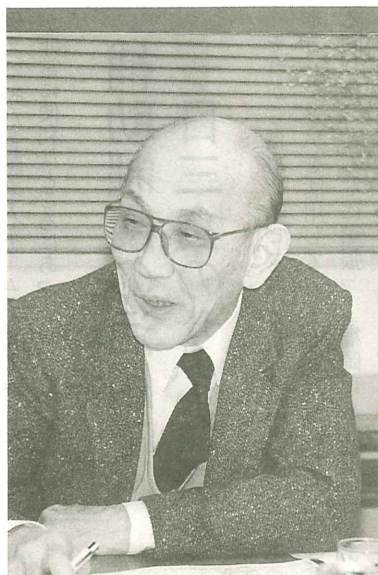


# 創立 20周年記念座談会

## 築いた土台を未来に生かそう

### 国民医療全般に 視野を広げて

司会 一九九五年は、石川県保険医協会にとって創立二十周年です。本日は会長、副会長、各部の部長にお集まりいただきました。十周年も同じ形で諸先輩が、協会の生い立ちからの十年間を語る座談会を開いておられます。本日の座談会では、その後の十年と今後、協会はどう歩んでいくべきかを語っていただきます。最初に平松会長にお願います。



安藤良一 (金沢市・内科)

司会 一九九五年は、石川県保険医協会にとって創立二十周年です。本日は会長、副会長、各部の部長にお集まりいただきました。十周年も同じ形で諸先輩が、協会の生い立ちからの十年間を語る座談会を開いておられます。本日の座談会では、その後の十年と今後、協会はどう歩んでいくべきかを語っていただきます。最初に平松会長にお願います。

高松 協会が当初から目指したのは、よりよい保険診療でした。そのうちに審査問題がたかさん出てきた中で、国民医療全般の問題に目覚めていくという発展があったわけです。

司会 次に協会設立時からの高松副会長に、十年目あたりからのお話をお願いします。

井沢 老人保健法以来の問題点を知ってもらったし、反対署名にも協力してもらいました。開業医が地域に出て、患者さんとの結び付きを強くしてきたという意識では「健康なんでも相談」は大きな役割を果たしてきましたと思います。

司会 その地域医療対策部が医療福祉部に名前を変えて一九八六年に『病院マップ』を初めて作り、それから毎年、改訂版を出していますね。『福祉マップ』も三回の改訂を重ねています。とくにこの『福祉マップ』の編集には大変なご苦労があったと思います。

井沢 ソシアルワーカー、ケースワーカーなどと仲よくなれたことは大きなプラス面です。その後、資料集めや相談に、大きな役割を果たしてくれました。

司会 協会の一番太い柱である保険医療の問題について、西村先生いかがでしょうか。

西村 学術・保険部としての最近十年間の活動としては、「コ・メディカルのための高血圧懇話会、糖尿病懇話会」は、いずれも百人を超す参加者がありました。一九八九年より始めた「黄色いハガキ運動」も審査改善を押し進め、一九九三年の『再審査請求の手引』の発行に結び付いたと考えています。

### 医師以外の人たちと『福祉マップ』を編集

#### 「福祉マップ」を編集

司会 医療と福祉の連携に目を向けてきたのは、協会創立からの目標でもあったと思うんですが、部として独立したのが現在の医療福祉部ですね。

高松 一九八三年老人保健法改正で、老人医療無料制度、福祉制度の後退が目立ってきたんです。そのころに地域医療対策部がつけられました。

井沢 老人保健法は老人に対する医療の差別なんです。ぼくが地域医療対策部に入った当時、主に老人クラブを対象に「健康なんでも相談」が活発に開かれていました。医療や福祉について膝を交えて話し合うのが趣旨で、老人保健法の

勝木 マスコミの論調が、医師はまるで悪者みたいな書き方が非常に多かったですね。「医は仁術よりも算術」というような調子でね。そういう誤解を解くために「健康なんでも相談」は一役を買っていったんです。

高松 協会以外の医療関係者への協力をあえて求めて編集したということに、非常に大きな意味があると思います。それまで医師の団体が、医師以外の団体や医療関係者にお願いで、ものをつくったという経験

西村 診療報酬改定の大きな節目となったのが一九八一年六月改定です。薬価の大幅切り下げが効いて、大幅なマイナス改定でした。その後も改定がある度に薬価切り下げ、大幅なマルメが行われています。改定がある度に、新点数説明会の出席者数が増えてきました。一九八一年の新点数説明会はどうでしたか？

神田 そのときは、説明会はやっていました。六人くらいしか集まっています。当時は筑田先生が一人講師でした。

平松 私は協会の発足と同時に役員になりましたが、勝木先生はその前の準備会からずっと協会を見守ってこられましたし、高松先生は初めから何があっても協会の理事会に皆出席されて頑張られるし、事務局と常

司会 医療と福祉の連携に目を向けてきたのは、協会創立からの目標でもあったと思うんですが、部として独立したのが現在の医療福祉部ですね。

高松 一九八三年老人保健法改正で、老人医療無料制度、福祉制度の後退が目立ってきたんです。そのころに地域医療対策部がつけられました。

井沢 老人保健法は老人に対する医療の差別なんです。ぼくが地域医療対策部に入った当時、主に老人クラブを対象に「健康なんでも相談」が活発に開かれていました。医療や福祉について膝を交えて話し合うのが趣旨で、老人保健法の

勝木 マスコミの論調が、医師はまるで悪者みたいな書き方が非常に多かったですね。「医は仁術よりも算術」というような調子でね。そういう誤解を解くために「健康なんでも相談」は一役を買っていったんです。

高松 協会以外の医療関係者への協力をあえて求めて編集したということに、非常に大きな意味があると思います。それまで医師の団体が、医師以外の団体や医療関係者にお願いで、ものをつくったという経験

西村 診療報酬改定の大きな節目となったのが一九八一年六月改定です。薬価の大幅切り下げが効いて、大幅なマイナス改定でした。その後も改定がある度に薬価切り下げ、大幅なマルメが行われています。改定がある度に、新点数説明会の出席者数が増えてきました。一九八一年の新点数説明会はどうでしたか？

神田 そのときは、説明会はやっていました。六人くらいしか集まっています。当時は筑田先生が一人講師でした。



平松昌司 (金沢市・内科)

井沢 老人保健法は老人に対する医療の差別なんです。ぼくが地域医療対策部に入った当時、主に老人クラブを対象に「健康なんでも相談」が活発に開かれていました。医療や福祉について膝を交えて話し合うのが趣旨で、老人保健法の



勝木育夫 (小松市・耳鼻咽喉科)

西田 協会の新点数説明会の評価を高めたのは一九



井沢宏夫 (金沢市・内科)



大矢甚祐 (金沢市・歯科)

### 座談会出席者

- |          |           |
|----------|-----------|
| 会長       | 平松昌司      |
| 副会長      | 安藤良一      |
| 副会長      | 高松弘明      |
| 財政部長     | 西田直己      |
| 経営・共済部長  | 勝木育夫      |
| 歯科部長     | 大矢甚祐      |
| 学術・保険部長  | 西村邦雄      |
| 医療福祉部長   | 井沢宏夫      |
| 機関紙・文化部長 | 小森 貴 (司会) |
| 事務局長     | 神田順一      |

保険医協会では、ただ今、「20年史」を編集しています。(3月発行予定)



(二六面の続き)

んですね。それから診療報酬改定に対する要求運動、医師税制の改善要求や医療法、健保法、国民健康保険法改定の反対運動があつて、一九八九年の国民医療を守る共同行動では、うちの協会でも一万三千六百人の署名を集めております。そのころから審査問題の改善運動も始めております。



小森 貴 (金沢市・耳鼻咽喉科)

### 医科と一緒に歯科問題の解決を

司会 勝木先生は、保険医協会創立の七人の侍の一人です。今日は経営・共済部長と同時に、最古参員のお一人として何かご発言いただきたいのですが。

勝木 何せ小松市から遠いものですから、しょっちゅう来れるわけでもないし、なるべくやたらに來なくていい仕事というので、共済の仕事させてください。保険医年金は当初から非常にいいものでした。会員

入れ歯を「運動、去年は審査指導の改善運動にも力を入れて活発に活動をしていきます。

く議論されていきました。原因の一つが技術評価が低いことで、まず自治体に請願が全国でたくさん出てきたので、われわれも金沢市議会に陳情に行つて採択してもらえたんです。全国では半数以上の自治体で採択された成果があり、この四月の改定で、十分ではないが、

### 二度と起こさせない個別指導事件

司会 機関紙・文化部ですが、柳下先生が十年前に部長をされて、とにかくみんなに読んでもらう新聞でないといけない、楽しい新聞ということをいつも言っておられました。ですから私も、まず読んでもらえる新聞でありたいということ

です。その上で協会の意図を正しく会員にお伝えをするよう心がけようとしてきました。

安藤 総務部の仕事で一番大事なのは医療運動かと思ひます。学術も地域医療も非常に大事な柱ですが、対外的な交渉、要求、提言をする団体があるということが協会の存在価値ではないか、総務として第一にす

義歯に関してはほかのどの分野よりも点数は上がつています。歯科医師会の努力よりも、保険医協会の力が厚生省を動かしたんだと評価しています。



神田順一 (事務局長)

西田 資金の動き、資産の動きを通して協会の活動がどうなっているかという点について、全国的な状況はどうか、全国的な財政担当者の交流集会で勉強してきまして、これをもとに全員に分かりやすいように、経理そのものをきちんと言わねばならない。私の念願です。

井沢 最近福祉サービステと医療は離れて考えられないほど一般の関心も強まっています。われわれとしてもこの取り組みは続けていかなければなりません。

司会 協会の存在意義という点で印象深いのは富山個別指導事件です。富山協会は、誇張や感情ではなく、事実に基づいて調査し、現場に立ち合われた人たちの署名入りの記事で報道しました。そして、全国の保

社部ではつくっていききたい。勝木 共済の方は、地域なり行政なりという対外的なことではなくて、会員のための福祉共済が主になります。今までの保険医年金は、利率だけ言っておればよかったんですが、それがだんだん一律になってきたから、制度の自在性とか、いろいろ運用面で有利だという面を強調していか

西田 税務当局からの話であるが、一〇〇%の対応ができるような経理システムをつくらせていきたいというのが私の願望です。

安藤 今、事務局長の話聞いて思ったんですが、理事者自身が協会の事務的な運営を熟知して、問題点に気がついて、改善すべくみんなで討議するという努力が、ひよっとすると今まで抜けていたのではないかと。それを総務の、あるいは会長、副会長会議での大事な課題の一つとしていきたいと思ひます。

### 一層の飛躍のために事務局長増員が急務

司会 「石川保険医協会歯科部新聞」とかさういうものをぜひ目標に置いていただきたいですね(笑)。

機関紙・文化部としては、今、みんなが求めているものは何なのかということをおちゃんと知るアンテナを持つていないといけない。執行部の意見を正しく伝えるという部分と、多くの会員の生の声が載るといふ部分が一緒にあってこそ協会が育つと思ひます。そこを目指したいと思ひます。

神田 さきほど富山の個別指導事件の話がありました。指導改善の活動を機関紙の全面を使って、三回

高松 協会は要求団体と問題提起団体であるということもいつも確認しながら活動していかないといい。より高いものを目指すとき、何が重要かということを常に問題提起しながら、それをどこに要求していくか、あるいは自分たちでそれを作り上げていくという姿勢が常に必要だと思ひます。

司会 今日長時間、ありがとうございました。



西田直己 (金沢市・小児科)



西村邦雄 (金沢市・内科)



高松弘明 (金沢市・内科)



読者の方へ

このコーナーの永久保存を  
おすすめします

そして、つらいときや悲しいときに  
再び読めば元気いっばいになります

編集部一同

# 高級ホテル



時は一九九四年五月の観  
光シーズン。

所は東京でも超一流ホテ  
ル。ロビーには、着飾った  
外人、日本人の紳士淑女が  
大勢行き来している。キン  
ピカ勲章を肩に付け、素敵  
なボーイが忙しい。

チェックインを済ませて  
都内の会合へ。簡単な宴会  
を終えて部屋に戻ったのは、  
夜十時を過ぎていた。空腹  
感に耐え切れず、部屋への  
出前を頼む。茶そば定食を  
運んできたボーイに「食べ  
終わったらこれどうしとく」

「おそれいますが、ドア  
の外へ出しておいてくださ  
い」「OK」。

夜食を終えて満足いっば  
い、盆を片手にドアを開け  
る。閉まらないように、  
左足の爪先をドアの下方  
にかけ、半身を乗り出して  
盆を床に置いた瞬間、なん  
と足を滑らした。

当然のことながら、ばた  
んと小気味よい音をたてて  
ドアが閉まったのである。  
しまったと思ったが後の祭  
り。ノブを押しても回して  
も叩いても開いてくれない。  
はっと我に返った。なんと

なんと、身に着けているの  
は、紫色のパンツだけでは  
ないか。要するに丸裸、すっ  
ぽんぽんのまま、ホテルの  
廊下に取り残されたのであ  
る。思わず両手で胸を隠し  
た。男だから、別に胸を隠  
す必要はないのだが本能だ  
ろうか。ついで隠したの  
は下の方だった。冷静に考  
えれば、誰もその時は見て  
いないのだから、何も隠す必  
要はなく、堂々としていれ  
ばよかったのに。パンツが  
下がらないようにひっぱり  
ながら、どうしようかと思  
案にくれた。身を潜める場  
所はどこにもない。誰かに  
助けを求める以外に手はな  
い。耳をすまます。向かいの  
部屋からかすかに笑い声が  
聞こえた。よしと決心した  
が、どうみても英語の笑い  
声だ。しかもレディらしい。  
もし、ドアをノックして顔  
を出したら、プリーズ・カ  
ムインと言ってくれないだ  
ろうか。いやいや、気絶す  
るかもしれないし、場合に  
よったらバーンとくるかも  
しれない。これはヤバイ。  
周りを見回す。幸い人影  
なし。残された道はただひ

とつ、目をつむってフロ  
ントまで行くしかない。意を  
決してエレベーターまで、  
長い（と私には思われた）  
廊下を全速力で走り出した。  
悪いことが重なるものだ。  
全部一階に止まっていて。  
貧乏ゆすりをしながらうろ  
うろしているうちに、ふと  
一角を見ると、助かった、  
電話が置いてあるではない  
か。天の助けとはこのこと  
だ。エレベーターから人が  
降りてくる前に、大急ぎで  
用件を告げると、再び全速

力で部屋の前まで戻ってき  
た。

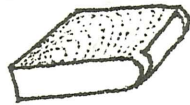
しかし、なかなかボーイ  
が来ない。身体がほてって  
くるのが分かる。あわてて  
いて、スッポンポンだと電  
話で言うのを忘れてしまっ  
たのである。

一流ホテルのボーイはさ  
すがだった。笑ってはいけ  
ないと教育された顔で、直  
立不動のまま一言「お客さ  
ま、どうぞお気を付けてく  
ださいませ」。

(XYZ)



# 図書館



今は昔、私が大学に入っ  
て、初めて市立図書館へ行  
った時のことです。本棚には  
ずらっと、本がこちらに背  
を向けて並んでおり、その  
本の背のタイトルがこちら  
から良く見えるように、棚  
板と棚板の中間にガラス板

が細長く張られ、下板との  
間に2cmほどのすき間があ  
りました。閲覧したい本が  
あれば、こちらからそのす  
き間に指を入れ、本を向こ  
う側へ少し押すと、本棚の  
後ろにいる係員がその本を  
抜き取り、受け渡しの机の

所まで持ってきてくれるこ  
とになっていました。

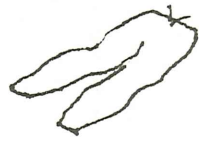
私は、そのとき、鎌倉時  
代を調べたいと思っていま  
したので、歴史に関する本  
棚のあたりを見て歩いてい  
ました。すると、「日本の  
歴史」と書かれた分厚い立  
派な本が見付かりました。  
まだ、文献の探しかたも知  
らないので、どんな本を選  
べばよいかとんと見当もつ  
きませんでした。ですから  
大きな本ならきつと、どん  
な時代についても詳しく書  
いてあるだろうと思つたの  
で、ガラス板の下のすき間  
から指を入れ、その大きな  
本の背を少し押しして言い  
ました。

「これください」  
すると、しばらくして係  
員がきました。ほんと、  
押し返してきました。私は  
もう一度、指で本を押しした  
ところ、また、ほんと戻っ  
てきました。

「これ、見せてください」  
今度は大きな声で言いま  
した。周囲の人達が振り返  
るのが感じられました。

「こんなもの見るのです  
か」  
「ここにがあるものは何を  
見てもいいんじゃないです  
か」  
「これはキイじゃないで  
すか」  
すると、やにわに、ずずっ  
とその本を引き抜いた係員

# 受験地獄



暗い浪人生活を耐え抜き、  
ようやく訪れた慶応大学受  
験の日、東京は冬とは思え  
ない暖かい日差しに溢れて  
いた。「今年で最後にしな  
ければ」、何度となく言い  
聞かせた言葉をもう一度呟  
いて、答案用紙に目を落し  
た。ところが、得意な数学  
なのに、解ける問題が一題  
も無いではないか、周りを  
見ると皆一心不乱に鉛筆を  
走らせている。「俺一人が  
解らないのか」、急に心臓  
が締め付けられ、手が汗ば  
み、頭の中が真っ白になっ  
ていった。「ああだめだ、  
今年もまた落ちるかもしれ  
ない、ああ、どうしよう、  
それにしても暑い、なんて  
暑いんだ……」。

話かけてきた。「緊張し  
すぎたんですよ、それに今日  
はとても暑いし。こうやっ  
て衣服を緩めれば楽に……  
アラ」。彼女が最後に漏ら  
した「アラ」の意味を理解  
したとき僕は顔が真っ赤に  
なり、もう一度気絶しそう  
になった、彼女は僕の股引  
きを見てしまったのだ。そ  
れは祖父の愛用で、カーキ  
色の極細毛糸で編まれてお  
り、前ボタン付きで、胴  
回りにくぐらせた細い紐を  
締めるというとても古い型  
のものだった。孫がかわい  
くてならない祖母が東京は  
寒いから必ず履きなさいと  
出発の前夜に差し出したも  
のだった。一瞬たじろいだ  
が祖母の気持が嬉しく、  
また、どうせズボンの下だ  
し見えないだろう、と思い  
切って履いたのだった。

「気分が悪くてここに來  
た受験生は、合格するとい  
うジンクスがあるのよ。ね  
え。」と白衣の女性は笑い

# 誰にも言えない話 誰に恥ずかかった話

をこらえながら同僚を振り  
返った。僕はもうすっかり  
元気になっていて、恥ず  
かしさの余り気を失ったふ  
りを感じながら何度か歯ぎ  
しりをした。「天下の慶応  
大学に、こんな年代物の股  
【九面に続く】

# 会員



読者の方へ

このコーナーは、なるべく  
読まないで下さい

もし、読んだ方は、すぐに忘れて下さい  
決して筆者を思い浮かべないで下さい

筆者一同

会場入口に八人(誰と誰か

ハルンに行きたいのですけ

進む。著変なし。婦長はい

「では、下剤を出してお

泣いていたのか笑っていた

に使えるなというセリフが

随所であり、実に充実した

# 新春 初笑い

## 結婚披露宴



〔八面の続き〕  
引きを履いて受験する田舎  
もんが合格するわけは無い、  
絶対無い。』  
さて、祖母の言い付けを  
しっかり守り、がんばって  
履いた暖か過ぎる股引きの  
おかげで慶応大学は見事不

合格となったが、股引きな  
しで挑んだ金沢大学には合  
格し、僕にもようやく春が  
訪れた。もちろん祖父父母の  
喜びもまた筆舌に尽くし難  
いものだった。お世話になっ  
た祖父はその三年後に、祖  
母は四年後に他界したが、

この話は最後まで二人には  
内緒にした。今思うと、た  
わいもない出来事だが、思  
い出すたびに祖父父母の優し  
さと、羞恥心あふれる若い  
自分に触れることができ、  
懐かしさがこみあげてくる。  
(北の狩人)

今の女房と結婚して二十  
五年、銀婚である。あっと  
言う間に過ぎた感じだ。と  
言うのも、結婚披露宴のこ  
とが今でも鮮明に思い出さ  
れ、冷や汗をかくからであ  
る。それが、今からお話す  
る「ちょっと恥ずかしい出  
来事」。な〜んだそんなこ  
とか、面白くもない、と言  
わないで欲しい。本人にとっ  
ては、大いなる勇気を持っ  
て恥ずかしさに耐えた出来  
事であるのだから。

一九六九年某月某日、金  
沢市某所、結婚式も無事に  
終え、いよいよ披露宴。緊  
張のせい、ちょっと尿意  
を催した、感じがした。し  
かし、新郎も一方の主役、  
あれ新郎さん、ほれ新郎さ  
んと、江戸時代の罪人市中  
引き回しのように振り回さ  
れ、暇なんてとんと無い。  
会場入口に八人(誰と誰か

は言うまでもない)が並ん  
でお客様にあいさつ。媒酌  
人であるわが恩師や主賓の  
齒の浮くような誉め言葉も  
終わり、歓談に入った。少  
しばかり緊張もほぐれ、ほっ  
とし、喉の渇きも感じた。  
わが恩師は、人も知る上戸  
であった、上戸は酒継ぎが  
上手であることを、後になっ  
て先輩から教えられた。確  
かに今まで、下戸の酒継ぎ  
上手には会ったことはない。  
恩師の酒継ぎ上手と小生の  
緊張のほぐれが、相乗効果  
となって「気楽に呑みたま  
え」と言う恩師の言葉のま  
まにビールのコップを重ね  
た。と、突然、尿意が襲来  
した。しかし、恩師の酒継  
ぎは止まらない。酔いと下  
腹の膨満のため目の前が真っ  
暗になるほどであった。つ  
いに我慢しきれず「先生、  
ハルンに行きたいのですけ

ど」「おお、そうか、行き  
たまえ。しかし、「それ  
では、失礼をして」なんて  
すぐには行けない。ところ  
が下腹の膨満感はそのるば  
かり。意を決して立ち上が  
た。おや? どうしたのだ  
ろう? という視線を感じな  
がら(当時の新郎は、始め

から終わりまで座りっぱな  
し、新婦を出迎えたりしな  
かった)足早に出口に向かっ  
た。さて、すっかりした後  
の再入場である。出た時よ  
りもっと恥ずかしかった。  
席までの長かったこと、思  
い出すといまでも冷や汗を  
かく。(書き人知らず)

触診は続く。その日はと  
くに、なぜかいつもより丁  
寧だった、指先を押したり  
滑らしたり浮かしたり、時  
には手のひらで腹部の感触  
を楽しんでいた。そのうち  
に、はたと硬いしこりに気  
が付いた。おかしい。大き  
さを確認する。表面不整。  
しまった、どうして今まで  
気が付かなかつたんだ。見  
落とした。

今から八年前の話である。  
本紙恒例の新春座談会と  
して、北陸婦人問題研究所  
所長の梶井幸代さんをゲスト  
に迎えて、当時の後藤田  
博之会長、宮村明子編集部  
員の三人の「新春鼎談」を  
計画したことがある、開い  
たのは十二月半ば、片町金  
劇裏の「やさ喜」である。  
座談会には、柳下邦男、  
西村功、栗野利雄各編集部  
員と、カメラと録音機を抱  
えた編集子が同席した。  
割烹料理に舌つづみを打  
ち、お酒も適量にたしなみ  
ながら、柳下編集長(当時)  
の軽妙な司会により、座談  
会は順調に行われた。  
当時の保険医新聞から拾  
うと、「正月の過ごし方」  
「健康管理から教育問答へ」  
「患者さんとの対話重視・  
開業医宣言」「老人保健法  
改正案に対する地方議会議  
情」「医療・福祉のモデル  
自治体づくり」「地域社会  
でのリーダーシップに期待  
」となっている。  
座談会はテンポもよく話  
題も豊富で、これは見出し  
に使えるなというセリフが  
随所であり、実に充実した

## はな吹雪



時は一九六六年四月上旬。  
所は敦賀病院。若き内科  
医長は、中年の美人婦長を  
ともなって午後の回診に出  
向いた。  
個室には、やせた七十歳  
位のおとなしい男性患者Y  
さんが一人、ベッドに仰臥  
位で診察を待っている。医  
長はおもむろに聴診器を受  
け取り、丁寧に胸部の聴診  
を始めた。ついで打診へと  
進む。著変なし。婦長はい  
きましよう」「お願いいた  
します」

さんのステテコとパンツを  
下げる。当然腹部の診察と  
なる。患者さんの訴えで、  
指先に神経を集中して下腹  
部から触診を始めた。  
「このあたりに痛みはあ  
りませんか」「夜になると  
少しちくちくします」  
「少し、はっていますね。  
便通は」「おとといから、  
出ていません」  
「では、下剤を出してお  
きましょう」「お願いいた  
します」

「あー先生。すみませ  
んけど、それあつしの鼻  
ですが」  
ぼかぼか陽気の窓外は、  
時あたかも、満開の桜が花  
吹雪を散らし、この世とも  
思えぬ極楽絵図に医長の目  
が吸い寄せられていたので  
あった。ひとの白衣を後か  
らつかまえて、真っ赤な顔  
で肩を揺すっていた婦長が、  
泣いていたのか笑っていた  
のか今は知る由もない。  
(H・T)

二時間であった。  
ところが翌朝、録音テー  
プを回してみるとひと言も  
音声が出てこない! 確か  
に録音ボタンは押したし、  
途中で何回もテープの回転  
を確認していたにもかかわらずである。  
どうやら押したのは録音  
ボタンではなく、再生ボタ  
ンのようだった。しかも、  
この日は録音テープに頼り  
ばなしで発言者のメモを全  
く取っていなかった。さあ  
どうする。もう一度座談会  
を開いてもらうわけにはい  
かない、前代未聞の「冷や  
汗体験」。

とにかく記憶の糸をたど  
って、座談会記事を綴るしか  
ない。見出しとなるセリフ  
を引き出し、丸一日かけて  
どうにか座談会風に記事を  
綴った。  
翌々日、出席者全員に事  
情を伝えて朱を入れてもら  
い、掲載できたのが本紙  
(一九八六年新年号)の新  
春鼎談「トラ年に思う」で  
ある。  
録音機の初歩的な操作ミ  
スにご用心。  
(編集子)

## 投稿

## 冷や汗





# 広島紀行

浅野繁尚 (金沢市・内科)

昨年十一月十九・二十日の両日、日本臨床内科医学会が広島で催され、一般演題の消化器の部に小生も演題発表した。その評価は他人に譲ることにして、今年

は金沢市で九月に開かれることになった。  
広島が数年前に、日本臨床内科医学会の神津会長から開会を指名されたとき、一九九四年になったらとても立派なホテルができるので、その時まで待つて欲しいということだったらしい。確かにリーガロイヤルホテルという、ニューオオタニと京王プラザを合わせたようなホテルができ、小生はその二十五階に泊っていた。  
金沢市は、今年小さくても今さら仕方がないから文化ホールしかないので小じんまりやるよりほかない。人口は広島市が九十万、金沢市は四十四万人と半分だから、これでなんとかできると思う。金沢大学跡地や県庁跡地には、ぜひ国際会議場を作ってもらって、北陸三県を中心らしく、福井、富山をリードするような立派な会議場ができることを願っている。



広島で開かれた日本臨床内科医学会

## 会員

映画評論を業とする泉沢美枝子さんは一九七九年二月、右の乳房に小さなしこりを触れた時、彼女は自分

## ホスピス

登谷栄作 (松任市・内科)

うな感じで、繁華街は小さい道頓堀のような雰囲気だった。しかし大阪のような素晴らしい味文化には遠く及ばない。食文化は、わが金沢市の方が一枚も二枚も上ではないかとうぬぼれている。人口こそ少ないが名古屋に比べても広島に比べても、金沢は自慢できる味を持つていてと思う。これは長年この国を支配してきた前田の殿様のお陰ではないかと思う。例えば駅弁一つ買ってもその土地の食文化の程度が分かると思う。  
物価は広島が安いようだ。タクシーに乗ってもラーメンを食べても金沢より安かった。金沢は食べ物ほうまいが物価が高い。東京並みに高いのが欠点である。何でも大都会のまねをして高くするようだけど、地方都市だから安くてもうまいものがある。金沢のタクシーも安くはいいと思う。

が乳癌であると直感するが、病院へは行かなかった。当時の日本の医療情勢では癌の告知は望まず、そのうえ手術、入院の繰り返しで病院の虜になってしまう。それは単に人生に存在したというだけで生きた証と言えなくなってしまうと考えた。それで「一人で癌と戦おう」と決意した彼女は、従来にも増して映画評論に打ち込むようになった。その泉沢さんとの出会い

は、一九八八年一月である。それは彼女の「闘病記」と私の『反骨の半生』と題する自伝との著書交換がとりなす縁であった。以来、度重なる出会いの中で、彼女は多くの医療問題を教えてくれた。彼女曰く、癌の告知の是非はともかく医者が駆け足回診ではなく患者の話を傾け、今までのように患者をわきに押しやったような治療ではなく、患者を真ん中に据え、薬や治

産婦人科を開業して今年で二十五年になる。そして取り上げた赤ちゃんは一万を超えた。最近になって、ふと、あることに気付いた。それは、幸せな夫婦は、お互いに尊敬し合っているという事である。尊敬するといっても、『福沢諭吉を尊敬する』というような、全人格的なものではなく、ただ単に「うちのやつは、俺にできない、こんなことができる」とか、「うちの人はこれだけは誰にも負けないほど上手」というような他愛のないことである。そして、大概そんな話を聞くと、周囲は「ごちそうさま」とか「夫婦はこれだからうまく行く」とか思っていて、笑って済ましていく。しかし、考えてみると、これは大変重要なことである。  
『人の長所を見る』ことは簡単に見えて、かなり難しい。それは、われわれは皆、なんらかの劣等感をもっており、そのために他人の欠点を見つけて自分の心のバランスをとろうとしている

(十一面に続く)

## 幸福への秘策

大石博司 (金沢市・産婦人科)

多くの奥さん方(ほとんど患者さん)に聞いたところでは、嫁に来た直後に姑から注意されたことは三十年たっても、攻撃的な言葉として覚えていてという人が少なくない。心理学の諺に『過去と他人は変えることはできない』というのがある。これは人間というものが、他人から注意されたぐらいではなかなか変わらない。は、一九八八年一月である。それは彼女の「闘病記」と私の『反骨の半生』と題する自伝との著書交換がとりなす縁であった。以来、度重なる出会いの中で、彼女は多くの医療問題を教えてくれた。彼女曰く、癌の告知の是非はともかく医者が駆け足回診ではなく患者の話を傾け、今までのように患者をわきに押しやったような治療ではなく、患者を真ん中に据え、薬や治

易学で「運が良い」とは、宝くじが当たるといふようなことを言っているのではなく、人間関係が良くなることであると書いてあったのを見たことがある。「相手の長所を認めるだけでなく、相手の長所に惚れ込むこと、相手に欠点があれば注意するのでなく、自分が補ってやれば良い」、これが、幸せな人生を歩む秘策として、私が六十年をかけて、最近ようやく悟ったことなのである。



「十面の続き」  
さらに泉沢美枝子さんは言う。「私は死はちょっとも恐くありません。私は癌と大の仲良しですもの」、これぞまさに「従病の心」であろう。

私は当時、浜松市の三方原病院を訪ねた時、ホスピス担当の先生は「患者はすべて教師である。やがて老い病み死にゆく私たちにとって、患者は正に教師であり善知識である」と言われた。生あれば必ず訪れる死、死は人生の花道である。その花道を心安らかに退いてゆかために今、看取りの医療がいかに大切であるかを思い知らされた

私は、ホスピス建設に全力投球せざるを得なかった。恵まれた生活と医療の飛躍的進歩で、日本の平均寿命は世界一となった。そのことは、私たちがどのように人生を完結するかという自分の人生を考え、選択する機会と時間が多くなったともいえる。

今ささやかな幸せの裏に、死という人生の終末の不安をだれしも抱きはじめてはならないだろうか。それはと

りもおさず死の苦痛ということであろう。その不安を増幅しているのが、癌の増加である。現在は生と死の場所が華やかな街と閉ざされた病院とに分断され、そして私たち医師は身近な死から学ぶことを忘れていく。先ずキユーア（治療）があり、それが行きつづまればケア（介護）がいかに患者を救うか医師として反省せざるを得ない。

患者も看護婦も家族もチームとなって共に傷つき、共に喜び、死への旅路を一緒に歩むのが人間らしい扱いである。幸い、昨年十一月に石川県済生会病院の一部にその施設ができて私の願いがかない、多くの患者さんの救いとなることはこの上ない幸せである。

# アントルメ

栗野利雄（金沢市・内科）

UFOの町をうたう羽咋市の一角、千里海岸への入り口付近に「アントルメ」という安藤先生と私の提案なる洋菓子屋がある。昨年末、「記念碑めぐり」の取材で、わが保険医協会の安藤良一副会長と杉野事務局員と一緒に能登へ出向いた帰りに立ち寄ったのが、こ

の「アントルメ」であった。「どこかで休んでいこう」という安藤先生と私の提案に二つ返事で賛成した杉野事務局員の紹介であった。聞くところによれば、はるばる金沢からケーキ好きたちが集う店として知る人ぞ知るらしい。フランスで洋菓子を学んだという店の主人の話に寄れば、医師やプロパーなどなどの医療関係者のお客も数多しとのこと。へんびな場所、ごく普通の洋菓子屋の風情ではあるが、たくましい体つき、割に繊細な主人と、小柄で美人な奥さんの二人三脚で切り盛りする店の雰囲気は、この上なく温かく「甘さ」が漂ってくる。



ありし日の故泉沢美枝子さん

店の雰囲気不釣り合いとは思いますが、無粋な男子

# 投稿



アントルメのオーナー金谷芳朗さん（中央）と奥様からケーキの説明を受ける栗野利雄先生

三人（失礼）はガラスケースの中をのぞき込んで、各々好みのケーキを物色。杉野事務局員は迷わずカタカナの固有名詞でオーダーするも、安藤先生と私は目当てのケーキに指を指す。パフォーマンスで注文。かくして三者のケーキは、次のように決定した。

安藤先生：上が深紅の家型で、全体がゼリーで包み込まれたつやつやとした華麗なケーキ。  
杉野事務局員：純白の立方体状で、シンプルな美しさだけだわせる上品なケーキ。  
私：ずんどうで、上にタコ糸がからまったような褐色のクリーム状のものに乗ったケーキ。  
以上。

何やら人物とケーキが妙にマッチしたような気がしたのは、私だけだったと思うが、さっそく片隅のテーブルに着席。ほんの五分ほどして、コーヒーとお待ちかねのケーキが到着。奥さんがそれぞれケーキを迷わずに出すあたりは、プロの記憶力か、はたまた人物とケーキのマッチングによるものかは今だに知るよしもなし。

### エトの民話

作・高橋伸樹

「本当か？」  
「本当だとも、古くなく、たいのシシは泥の中をころがりまわって、全身に泥をつけては太陽で乾かし、また泥の中をころがって、何度も何度も泥をつけて固めるので、矢も鉄砲も歯が立たないから、天下に敵無しで、どんどん大きくなるのだ」  
「おらも背中に草の生えているいのシシを見たことがある。泥の中に草の実が混じっていたんだらうな」

「おらなんかもつとすごいのを見たことがあるぞ、おらは山の中で、山がこっちへ走って来るのに出合ったんだ。よく見ると背中に柄の太木を森のように生やした古いのシシだ」  
「まるでヤマトノオロチだな」  
「そうだ。ヤマトノオロチの親父ぐれえはあつたな。おらはやつ胸倉をつかんでねじ伏せた」  
「ところでその柄の太木は何本あったね」  
「シシ十六本」

「より良い国民医療を求めるという基本理念に立ち返って、編集部も頑張りたいと思います。今年二月からは、新しい企画として、障害を持つ人々と施設についても紙面に取り上げ、会員の方々と共に認識を深めたいと考えています。皆様のご健康を心からお祈り申し上げます。（小森）

## 碁

出題者  
七段 向井富治（金沢市・内科）

鳥居方策五段との対局に生じました。白番です。（解答5面）



## 出番を待つ子

北山吉明 (金沢市・整・形・皮科)



幼い子供たちのひたむきさにハッとさせられることがある。手抜きを知らない真剣さに心を打たれることがある。楽しいはずのマスゲーム、その出番を待つ後ろ姿に心が熱くなった。

人生の知恵とか処生術とか、そういうものを遥かに越えた次元で、本能に近いひたむきさを見せられたとき、われわれは理由もなく感動してしまう。良いとか悪いとかの判断以前に体が受け入れてしまうのだ。

人と人とを結び付ける絆というものは、案外、人の生命維持に匹敵するくらい本能的なものであるかも知れないと、この時は真剣に思った。

## うさぎまつり

大平政樹 (金沢市・外科)



鞍月校区、秋の子供まつりの出し物「うさぎ踊り」です。うさぎに扮した小学生が町内を一軒一軒回り、その年の幸せと豊作を祈って、もちを配ります。“ペッタン、ペッタン、ペッタンコ……”



## 初冬の立山

相良宝作 (金沢市・内科)



夏、秋山シーズンが終わり、登山者たちの喧噪が去った今、みくりが池には静寂が漂い、雪の衣に覆われた立山は、神棲む山の姿を取り戻しつつある。



## 校庭の落葉

高橋サブロー (金沢市・耳鼻咽喉科)

空一面に覆いかぶさってくる鉛色の雲  
車の中で時計を見た  
まだ午後三時を過ぎたばかりを  
夕方と勘違いさせてくれる

郵便局、バス停、高校の桜並木  
無数に重なり合う落葉  
車道にこぼれるほど 厚く積もった落葉  
園児のように靴で蹴散らしてみる


次の日、もう一度  
桜の木と落葉を見に行く  
朝の陽光に  
梢に残る黄色の葉が眩しく光る

桜の花の開く時に入学して 四十余年  
年輪を増やし続けてきた桜の木  
重なる落葉の中に  
真新しいボールが一個置き忘れられたか

小枝の葉が  
蝶の羽根のようにひらひらと  
師走の風に揺れているのを  
サッカーボールが見上げていた



地域社会の医療と健康に貢献する企業



**明希株式会社**

代表取締役社長 石黒 裕明

本社 石川県金沢市無量寺町八番地 電話(0762)641-1111  
 電話(0762)641-1111 FAX(0762)641-1111

SANSEIDO


健康応援オーケストラ

**株式会社三星堂**

中柴金沢支店

金沢市神宮寺三丁目一三〇  
 電話(0762)521-3111

医薬品総合卸



**誠和薬品株式会社**

金沢市西泉二丁目一八〇  
 電話(0762)411-8555

地球の健康とすべての人々の健康で豊かな生活に貢献します。



**SUZUKEN**

株式会社 スズケン

金沢支店  
 金沢市問屋町二丁目50番地 〒920  
 TEL(0762)37-7171 FAX(0762)37-5507



いつも元気でいたいところからだ。

**inooue**

INOUE SEISHO DOU CO.,LTD.

株式会社 井上誠昌堂

〒920-02 金沢市直江町17番地1  
 TEL (0762) 38-7676

高純度試薬・臨床診断薬

**片岡薬品株式会社**

〒920 金沢市石引二丁目七番九号  
 電話(0762)631-0156  
 FAX(0762)641-3833

**カネボウ薬品株式会社**

金沢営業所


金沢市横川七七八四 泰成ビル3F  
 電話(0762)421-9600  
 名古屋市中村区名駅四一七一九  
 鐘紡ビル4F  
 電話(052)571-3334

1995年

迎春



医薬品総合販売商社




**北邦医薬株式会社**

ホクホーイヤク

金沢市西念一丁目二番二十六号  
 電話(0762)311-6500  
 FAX(0762)311-8877

医薬品総合商社



**松井薬品株式会社**


金沢営業所  
 金沢市諸江町上丁四五九の一  
 電話(0762)231-2615  
 FAX(0762)231-2616

**田辺製薬株式会社**

関西支店金沢営業所

〒920 金沢市尾山町三番十三号  
 (住友生命尾山町第一ビル)  
 電話(0762)211-8111  
 FAX(0762)211-3590

医薬品メーカー



**辰巳化学株式会社**

取締役社長 黒崎 昌俊

本社 金沢市三馬三丁目三四五番地  
 電話(0762)471-2323

Central Medical



セントラルメディカル株式会社

金沢市北安江2丁目19番3号  
 電話(0762)23-6688代

三共株式会社



金沢出張所

金沢市尾山町六番三〇号  
 電話(0762)631-2111  
 FAX(0762)631-2126  
 郵便番号 920

株式会社 ツムラ




医薬品東部本部  
 金沢営業所

金沢市高岡町三二二〇  
 安田生命金沢ビル八階  
 電話(0762)211-2650

クオリティライフを応援します。

人工臓器専門商社



**株式会社 林寺メデノール**

代表取締役 林寺 紘


本社 金沢市笠間本町二丁目26番7号  
 電話(0762)22-6500  
 石引分室/金沢市石引3丁目7番57号  
 石川ビル/金沢市石引4丁目10番24号  
 営業所/富山・東京・横浜・福岡

**藤沢薬品工業株式会社**

金沢支店


〒920 金沢市本町二丁目十五番地一  
 ボルテ金沢七階  
 電話(0762)341-3680

北陸製薬株式会社



本社 福井県勝山市猪野口三七号一  
 電話(0779)881-5111  
 石川販売所 石川県金沢市森戸一四七五  
 電話(0762)401-2333

FALCO




Fast and Accurate Laboratories with Confidence

ファルコバイオシステムズ

北陸本社: 〒920-02 金沢市近岡町309番地  
 TEL: 0762-37-4230代  
 富山営業所・能登営業所

代表取締役 社長  
 古賀 克己

株式会社 ツムラ



医薬品東部本部  
 金沢営業所

金沢市高岡町三二二〇  
 安田生命金沢ビル八階  
 電話(0762)211-2650

**森下ルセル株式会社**

金沢出張所

〒920 金沢市神宮寺二丁目二十番三号  
 石川県薬業ビル三階  
 電話(0762)511-4133  
 FAX(0762)511-0777

Meiji

**明治製菓株式会社**

薬品金沢営業所

〒920 金沢市浅野本町二丁目一番五号  
 電話(0762)511-0234  
 FAX(0762)511-0235

**富山化学工業株式会社**

金沢営業所

〒920 石川県金沢市広岡一三三三  
 金沢第二ビル  
 電話(0762)641-4378  
 FAX(0762)331-2144

**小野薬品工業株式会社**

金沢出張所

〒920 金沢市昭和町一六〇一  
 ヱイサージュニ四階  
 電話(0762)631-7001代

**萬有製薬株式会社**

支店

金沢市入江二丁目五四(中村ビル)  
 電話(0762)911-8611  
 FAX(0762)911-8615



保険医年金幹事会社  
休業保障受託会社

### 三井生命保険相互会社

金 沢 金沢市尾山町三番十一号  
支 社 電話(0762) 六三一三二五(代)

グループ保険  
受託会社

### 富国生命保険相互会社

金 沢 金沢市本町二丁目十一号七  
支 社 電話(0762) 六三八八五(番)

グループ保険  
取扱幹事会社

### 太陽生命保険相互会社

北陸法人 金沢市尾張町二丁目八二二三  
営業部 電話(0762) 二二一〇七三(番)

保険医年金  
受託会社

### 安田生命保険相互会社

YASUDA LIFE 金沢市彦三町二一四四五  
電話(0762) 三二二二六(番)

グループ保険  
受託会社

### 第百生命保険相互会社

Daihyaku Life 金沢市玉川町一〇一四  
電話(0762) 六二一三二九(番)

「ゴジラ松井」  
通帳・カード登場!



北陸銀行橋場支店  
金沢市橋場町3番15号 〒920  
TEL(0762)61-7125



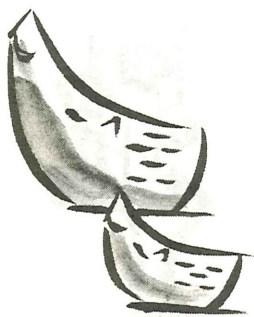
### 日本ベーリンガー インゲルハイム(株)

〒920 金沢市広岡三丁目一番一号  
金沢パークビル六階  
電話(0762) 三三六〇五〇(番)  
FAX(0762) 三三六〇五五(番)

京都営業所 金沢出張所

1995年

# 迎春



エッソ石油(株)代理店

### 石川米油株式会社

金沢市神谷内町二の六一  
電話(0762) 五二四三二(番)

日本石油(株)特約店



### 三谷石油サービス株式会社

金沢市芳齊一丁目三番三号  
電話(0762) 六三一六一七(番)

医科器械



### 株式会社 越屋

代表取締役社長 高沢 武志  
顧問 野村 進  
金沢市石引四丁目四番一〇号  
電話(0762) 二二七二七(代)  
FAX(0762) 六二一八五〇(番)  
富山営業所・福井営業所



### 株式会社 コムラ

代表取締役 古村 生 亥  
金沢市諸江町上丁五七四  
電話(0762) 二一三二四(番)  
FAX(0762) 六一一五二(番)

医療機器総合販売業



### 富木医療器株式会社

社長 富木 昭 光  
本社 金沢市問屋町二一四六  
電話(0762) 三七一五五(番)  
小松所 小松市長崎町二丁目一五番  
電話(0762) 三三三三五(番)  
七尾所 七尾市千野町八番一〇番  
電話(0762) 三三三三五(番)  
富山所 電話(0762) 五七一三五(番)



協和発酵工業株式会社  
大阪支社 医薬第二部  
医薬金沢営業所  
金沢市片町1-1-34  
〒920 (金沢第一生命ビル)  
TEL (0762) 22-7871 番  
FAX (0762) 23-7504 番

医療電子機器 放射線機器



### 関西放射線機器

福井市松本一丁目二六一八  
電話(0762) 二三八八八(番)  
FAX(0762) 二三八八八(番)



先進技術で未来をひらく  
科学・産業・情報・医用機器専門商社

### 丸文通商株式会社

取締役社長 高本 昭 二  
本社 金沢市松島一丁目四〇番地  
電話(0762) 六九一八八(番)  
技術センター 松任市福留町二四八一  
支店 富山・福井 営業所 七尾・東京



明日の医療を見つめる。  
株式会社 半田

### 取締役社長 半田 隆彦

〒920 金沢市駅西本町2丁目11番29号  
TEL(0762) 22-5111(代)  
FAX(0762) 64-2333(代)

正確にスピーディに検査情報をお届けします

登録衛生検査所

### 北陸メディカルサイエンス

本社 金沢市大手町九一三一  
電話(0762) 二二一三三(代)  
営業所 金沢・富山・福井・敦賀・武生



登録衛生検査所

### 株式会社 エスアールエル北陸

(旧名称 (株)太陽厚生科学研究所)  
金沢市福増町北八三九番地  
電話(0762) 四九一九(番)  
FAX(0762) 四九一九(番)



### アロカ株式会社

〒921 金沢市黒田一丁目十七番地  
電話(0762) 四〇一八〇(番)  
FAX(0762) 四〇一八〇(番)

### 持田製薬株式会社

金沢出張所

〒921 金沢市横川七一五〇  
電話(0762) 四二一七〇(番)  
FAX(0762) 四二一七〇(番)

### ソノダ印刷株式会社

〒921 金沢市泉が丘一丁目三番三三号  
電話(0762) 四七二五(番)